

糖尿病に糖鎖食品が有効！

平成 22 年 10 月 1 日（金曜日）第 28 回 NPO 例会「CAM 糖鎖セミナー」
 講師：薬学博士 今田勝美先生（京大薬学卒）「健康食品としての糖鎖栄養素含有食品の可能性を探る」と NPO 法人理事長の講演内容より



■ 糖尿病のタイプ 左から 山本理事長・水野先生・今田先生

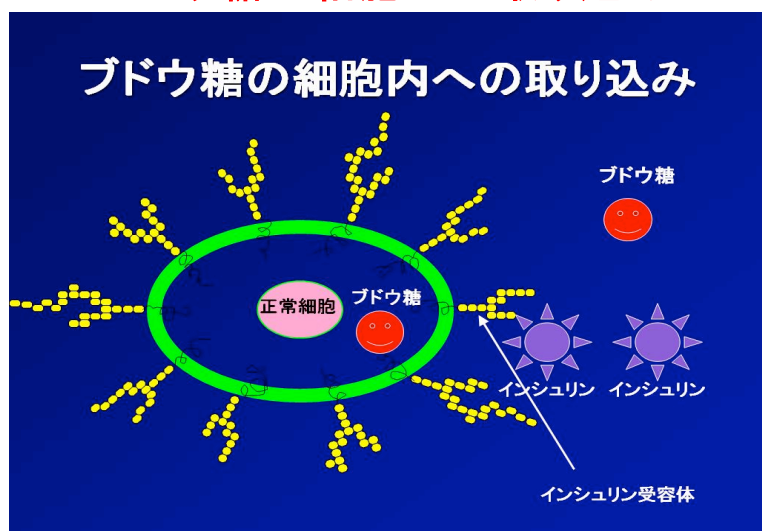
I 型糖尿病

すい臓のインスリンを作り出す細胞（β細胞）が破壊されてしまい、インスリン分泌がほぼゼロになってしまうタイプ。
 自己免疫疾患やウイルス感染などにより突発的に発病することがほとんどです。

II 型糖尿病

細胞のインスリン感受性が低下し、細胞内へのグルコースの取り込みが低下して起こる糖尿病の95%がこのII型です。糖尿病は慢性の高血糖状態になる代謝疾患です。体の組織で代謝調節能を発揮するインスリンの分泌不足、又は、インスリン低下性の増大でインスリンが作用せず、血糖値が上昇します。

■ブドウ糖の細胞への取り込み



<解説>

インスリンが細胞表面のインスリン受容体に受け入れられて初めて細胞チャネルが開き、グルコース(ブドウ糖)が細胞内に取り入れられます。これに「糖鎖」が関係しています。インスリンとインスリン受容体を通じてブドウ糖が細胞の中に入りますが、その架け橋の役目が「糖鎖」です。これが上手くいかないとII型糖尿病になります。健康な人でもブドウ糖を摂り過ぎると、細胞の中に入りきれず、残ったものが尿として排出されます。

■「補完代替医療・CAM と糖鎖の健康学」

当 NPO 法人理事長 山本英夫

今話題の糖鎖食品の開発と歴史西洋医学と CAM 併用で難病が克服できるか？と云う演題にて、免研 CAM プログラムと試用実践例をお話ししました。又、山本氏編者の書籍「糖鎖の健康学」の内容についてもお話されました。

詳しい資料あります。